



*2023年1月改訂(使用上の注意改訂)

第2類
医薬品

服用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時読めるよう大切に保管してください。



解熱鎮痛薬

リングルN

リングルNは…

- アセトアミノフェンを配合し、熱をさげ痛みをやわらげます。
- 眠くなる成分は入っていません。
- 5歳のお子様から服用できます。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

- 次の人は服用しないでください
 - (1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬
- 服用前後は飲酒しないでください
- 長期連用しないでください

🗣 相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください
 - (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。
 - (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3)高齢者。
 - (4)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (5)次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
そ の 他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診察を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
* 薬剤性過敏症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。

症状の名称	症 状
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎 障 害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

【効 能】

- 悪寒・発熱時の解熱
- 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんど痛・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛

【用法・用量】

症状があらわれたとき、下記の1回服用量をなるべく空腹時をさけて服用します。服用間隔は4時間以上おいてください。

年 齢	1回服用量	1日服用回数
大人(15歳以上)	3錠	3回を限度とします
11～14歳	2錠	
5～10歳	1錠	
5歳未満	服用しないでください	

《用法・用量に関連する注意》

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3)錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押しつけて裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。

（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）



【成分・分量と働き】9錠中

成 分	分 量	働 き
アセトアミノフェン	900mg	熱をさげ、痛みを抑えます。
無水カフェイン	150mg	アセトアミノフェンの働きを助けます。

添加物として、ケイ酸アルミニウム、ヒドロキシプロピルスターチ、セルロース、ステアリン酸Mg、ヒドロキシプロピルセルロースを含有します。

◎保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。
（誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。）
- (4)使用期限をすぎた製品は、服用しないでください。



副作用被害救済制度のお問い合わせ先
（独）医薬品医療機器総合機構
https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html
 電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

本製品についてのお問い合わせは、
 お買い求めのお店又は下記にお問い合わせください。
佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口
 電話 **03-5412-7393**
 受付時間 9:00～17:00（土、日、祝日を除く）

製造販売元
佐藤製薬株式会社
 東京都港区元赤坂1丁目5番27号